

2025年9月

須坂高校 たより

臥龍魂

熱・意気・かり



☆ 『先輩と語る会』

2学期が始まり、来年度の授業科目を選択する時期となりました。少しずつ将来の方向性が見えてきた2学年は、大学受験科目など、進路実現に必要な学習を一生懸命調べているところです。再度進路を検討する期間に合わせて、8月30日（土）に「先輩と語る会」が開かれました。講師は、本校出身の大学生です。大学で学んでいることや将来のこと、高校時代の学習方法や大学受験の体験談などを語ってくれました。「計画的に将来を見据えて、進路を選択すること」、「高校で頑張りたいことは全力でやり通す！」、「とにかく諦めない！」。須坂高校出身かつ現役大学生である先輩の言葉はとても重みがあり、参考になるものばかりです。いきいきと学び続けている先輩の姿を見て、自身の進路実現や今後の学習への意欲が高まったのではないのでしょうか。先を見通して、「今」自分がやるべきことを整理していくことで、高校生活もさらにその先も、より充実したものになっていくと思います。



☆ 就業体験 発表会

1学年は、入学後から「就業体験ノート」を用いて、継続的に働くことや自分の将来について考えを深めています。夏休みには、それぞれの興味に合わせた企業・団体で就業体験を行いました。そして、9月4日（木）のLHRでは、それぞれの就業体験での学びを発表し合いました。限られた時間の中でも、実際に校外での体験をすることで、社会の一員としての責任感ややりがいを感じていました。この経験を活かして、主体的に自分の将来について、さらに考えていってほしいです。就業体験を受け入れてくださった皆さま、ありがとうございました。

☆ 小山小学校の外国語授業に参加！

9月8日（月）、生徒が小山小学校を訪問し、英語の自己紹介と「can」を使った活動の補助を行いました。英語を楽しんで学べるようにICT機器を用いて発表したり、小学生の発言に質問をして交流を深めたりと、事前に準備したものをしっかり実践していました。緊張感もありましたが、とても楽しそうでした…！



「一人ひとり肌の色も考え方も生きてきた環境も違う、でも芸術表現には、その個々の違いと同時に、共通性も表されると思う。世界が、人間が凝縮される…」

さて、何の授業での発言でしょうか？

上の発言は、「美術×音楽×倫理」のコラボ授業での一言です。場所は音楽室。イントロダクションのあと、アートタイム（drawing：黒板に自由に描く&improvise：絵をもとに即興演奏する）を経て、てつがくタイムを持ちました。

《てつがくタイムの参加者発言から》

- ・絵にも音楽にも感情のゆれが表れている…
- ・表現には、世界への批判とか想いが込められていると思う。
- ・アーティストの演奏にアートの「技術」の側面を感じた。
- ・明るいだけじゃ無い、キラキラしたなかに暗い、力強い何かがある…
- ・同じ絵を見たり音楽を聞いても感じ方が一人一人が違うのが面白い、なぜか。
- ・生きてきた環境がその人をつくるから、それで感じ方見方もみんな違うのでは…
- ・違った色合いなら違った音楽が奏でられたのか…色が表現や解釈に与える影響は…

最初に紹介した言葉は、この直後の発言です。この後のリフレクションでは、「私とみんなの何が違って、感じ取り方が異なっていたのだろうか？」等、さらに自分自身や人間性に迫る問いが出されました。

倫理をはじめとした「てつがく対話」スタイルの授業では、ともに問い、考えることを楽しんでいます。アメリカの教育哲学者マシュー・リップマンの「多元的思考力を育む教育」としての哲学対話理論をベースに、輪になりコミュニティボールという毛糸のボールを回しながらじっくり問いと向き合います。先人たちの問いや仲間の声に向き合うことで、新しい発見があったり、考えが広まったり深まったり、新たな問いが生まれたりします。そのことが、ともに生きることを後押しする力になり、well-beingを実現する糧になると考えています。そのために、自分を知り、他者を知り、違うことやわからないことに浸る、安心な場をつくることを何よりも大切にしています。

他教科とのコラボ授業を楽しんだり、映画や小説を題材にてつがくしたり…図書館やスタバ（自習室）、芝生、青空の下で授業をオープンしています。



☆ お知らせ

- ・第2回目の公開授業が **10月4日（土）** に実施されます。詳細は学校HPに掲載します。
- ・『須坂高校たより』は、月に1回発行予定です。